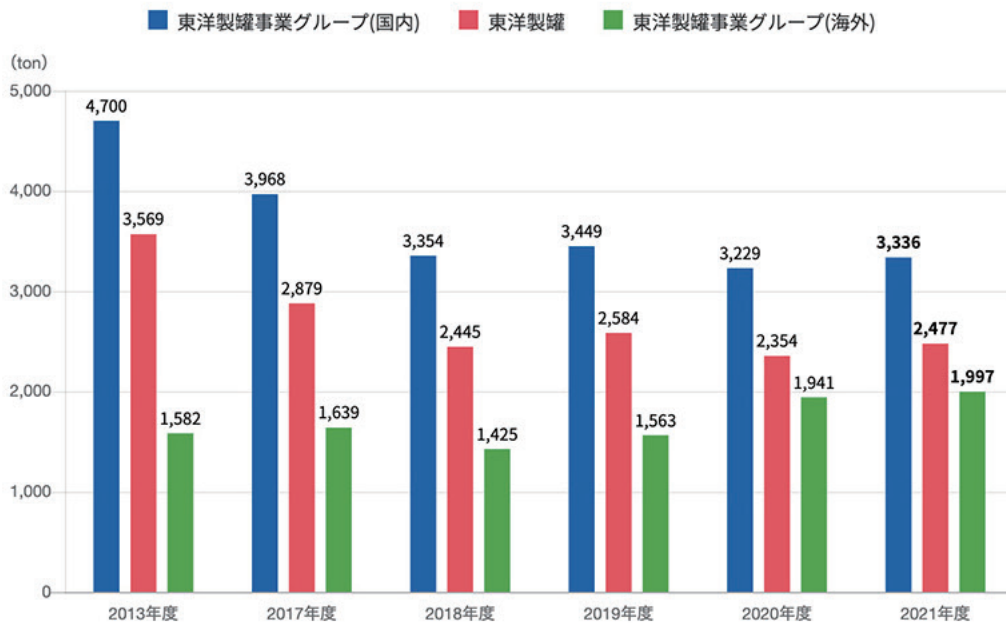




## 水資源の保全



### 水使用量



### 各事業所における水管理

東洋製罐グループではEco Action Plan 2030において、水使用量30%削減を目標として掲げました。東洋製罐事業グループとしても、水の削減および水リスク評価や評価方法の検討等に取り組んでいます。

東洋製罐事業グループの各事業所は、製品の洗浄・冷却などに水資源を利用しています。2021年度から海外の事業グループを対象範囲に追加しました。東洋製罐事業グループの2021年度水使用量は5,333千m<sup>3</sup>、国内での水使用量3,335千m<sup>3</sup>と増加しました。生産ラインの増設などにより水使用量は前年度より増加していますが、水資源の効率的な利用と効率的な生産や、排水処理水のリユース技術の検討を開始するなど、水使用量の削減に取り組んでいきます。

また、排水管理は各事業所で排水基準の規制値よりも厳しい自主規制値を設定し、排水処理を行った後、海や河川など地域に戻しています。今後も処理効率の向上や排水の化学物質の管理を徹底し、水質汚濁の防止と水資源の保全に努めていきます。

